

# むか い わ へい 向井 和平 (1842~1904)



**陶業家。砥部焼中興の祖。**浮穴郡五本松村(現、砥部町)出身。家業は代々陶業を営み、20歳頃家業を継いだ。明治18(1885)年、砥部焼を初めて清国(現、中華人民共和国)へ輸出し、以後、朝鮮やアメリカなど海外への販路を開き、砥部焼の国際的評価を高めた。明治23(1890)年、淡黄磁器の焼成法を編み出し、シカゴ世界博覧会に作品「陶鶴」を出品して一等賞の榮譽に輝いた。また、浮穴郡・伊予郡陶磁器業組合取締、全国五二会愛媛支部陶磁業部長などを歴任し、県内陶磁器業界の発展に尽くした。和平は、号を愛山と称し、その錦絵磁器は、愛山ものとして珍重されている。

## 略歴

天保13(1842)年11月12日	浮穴郡五本松村に生まれる。
明治8(1875)年	万年石・鶴ノ崎石を発見
明治11(1878)年	弟子を京都に派遣し、西洋絵付法を伝習させ、錦絵磁器製造を開始
明治18(1885)年	清国への輸出開始。その後、朝鮮・東南アジア・アメリカにも販路を拡大
明治21(1888)年	浮穴郡・伊予郡陶磁器業組合を組織し、取締に就任
明治23(1890)年	淡黄磁器焼成法を創出
明治26(1893)年	シカゴ世界博覧会に「陶鶴」を出品し、一等に入賞
明治37(1904)年	緑綬褒章を受章
10月9日	63歳で永眠

(肖像画：砥部焼伝統産業会館蔵)

### 〈関連図書〉

- ・砥部町教育委員会『砥部焼の歴史』 砥部焼歴史研究会 1969年
- ・砥部町教育委員会『砥部焼のしおり』 砥部町商工会 1977年
- ・砥部町誌編纂委員会『砥部町誌』 砥部町 1978年
- ・山本典男『砥部磁器史』 里の会 1986年
- ・愛媛県史編さん委員会『愛媛県史 社会経済3』 愛媛県 1986年
- ・愛媛県史編さん委員会『愛媛県史 人物』 愛媛県 1989年

〈ゆかりのある場所〉…(P279~280, 64~65)

〈関連施設〉…砥部焼伝統産業会館

〒791-2132 愛媛県伊予郡砥部町大南335番地 TEL: 089-962-6600